

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年3月実績 速報版

2月実績 確報版

2015年度集計 速報版

(2016年4月21日公表)

調査資料概要

【パネル275社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2015年4月実績よりパネル対象企業変更(285社→275社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品	調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年4月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年3月実績 速報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	87,139,206	100.0%	103.2%	101.1%
食品合計	78,047,762	89.6%	103.7%	101.5%
生鮮3部門合計	29,833,239	34.2%	103.0%	100.7%
青果	12,146,433	13.9%	104.0%	101.7%
水産	8,187,424	9.4%	102.5%	100.6%
畜産	9,499,381	10.9%	102.2%	99.4%
惣菜	8,418,155	9.7%	105.4%	102.6%
日配	16,734,847	19.2%	105.0%	102.8%
一般食品	23,061,522	26.5%	103.1%	101.2%
非食品	6,453,826	7.4%	99.4%	98.7%
その他	2,637,668	3.0%	97.5%	97.6%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	14,213,803	49	101.9%	100.2%
関東地方	30,995,105	70	102.9%	100.7%
中部地方	10,282,890	58	103.2%	101.1%
近畿地方	17,681,134	34	103.6%	102.1%
中国・四国地方	8,699,689	36	104.7%	100.7%
九州・沖縄地方	5,266,585	28	102.8%	101.8%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	921,259	57	101.7%	102.0%
4~10店舗	4,097,991	68	101.7%	100.7%
11~25店舗	9,637,064	62	100.8%	99.9%
26~50店舗	16,190,646	45	104.2%	100.6%
51店舗以上	56,292,246	43	103.5%	101.5%

集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	84,466,933
総店舗数 (店舗)	7,530	店舗平均月商 (万円)	11,572
総売場面積 (㎡)	12,831,494	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年4月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年2月実績 確報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	81,878,481	100.0%	105.9%	103.9%
食品合計	73,681,016	90.0%	106.5%	104.6%
生鮮3部門合計	27,922,471	34.1%	105.7%	103.5%
青果	11,137,542	13.6%	105.8%	103.8%
水産	7,392,483	9.0%	104.9%	102.6%
畜産	9,392,446	11.5%	106.2%	103.9%
惣菜	8,135,977	9.9%	107.9%	105.5%
日配	15,789,444	19.3%	107.7%	105.8%
一般食品	21,833,123	26.7%	106.3%	104.7%
非食品	5,794,634	7.1%	101.5%	100.6%
その他	2,402,877	2.9%	96.2%	94.9%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,766,290	49	105.7%	103.8%
関東地方	29,269,327	70	106.0%	103.9%
中部地方	9,733,391	58	105.1%	104.0%
近畿地方	17,190,951	34	105.1%	103.2%
中国・四国地方	8,012,338	36	107.2%	104.3%
九州・沖縄地方	4,906,184	28	107.1%	106.2%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	860,170	57	101.4%	101.7%
4~10店舗	3,517,223	67	105.1%	104.2%
11~25店舗	9,446,331	64	103.9%	103.1%
26~50店舗	15,165,999	46	106.0%	103.8%
51店舗以上	52,888,757	41	106.3%	104.2%

集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	79,098,057
総店舗数 (店舗)	7,473	店舗平均月商 (万円)	10,957
総売場面積 (㎡)	12,741,518	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.4

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年4月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2015年度実績（パネル275）速報版

	全店売上高（万円）	構成比	前年度比 （全店）	前年度比 （既存店）
総売上高	1,039,027,711	100.0%	104.4%	102.3%
食品合計	922,518,683	88.8%	104.9%	102.7%
生鮮3部門合計	351,076,764	33.8%	105.1%	102.8%
青果	141,498,568	13.6%	106.6%	104.3%
水産	94,206,177	9.1%	103.6%	101.2%
畜産	115,372,018	11.1%	104.7%	102.2%
惣菜	101,332,894	9.8%	106.5%	103.7%
日配	197,193,977	19.0%	104.8%	102.5%
一般食品	272,915,049	26.3%	104.2%	102.2%
非食品	81,208,998	7.8%	100.6%	99.9%
その他	35,300,029	3.4%	98.8%	98.9%

エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年度比 （全店）	前年度比 （既存店）
北海道・東北地方	164,595,569	49	104.1%	102.3%
関東地方	369,309,248	70	104.8%	102.4%
中部地方	123,922,771	58	104.1%	102.1%
近畿地方	215,025,197	34	103.3%	101.8%
中国・四国地方	103,078,366	36	106.2%	102.8%
九州・沖縄地方	63,096,559	28	104.0%	103.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年度比 （全店）	前年度比 （既存店）
1～3店舗	10,846,970	55	101.1%	101.1%
4～10店舗	45,330,232	69	102.3%	101.8%
11～25店舗	120,922,001	64	102.9%	101.2%
26～50店舗	185,285,969	44	104.4%	102.3%
51店舗以上	676,642,539	43	104.8%	102.6%

※保有店舗数カテゴリーは2015年1月時点での保有店舗数による分類

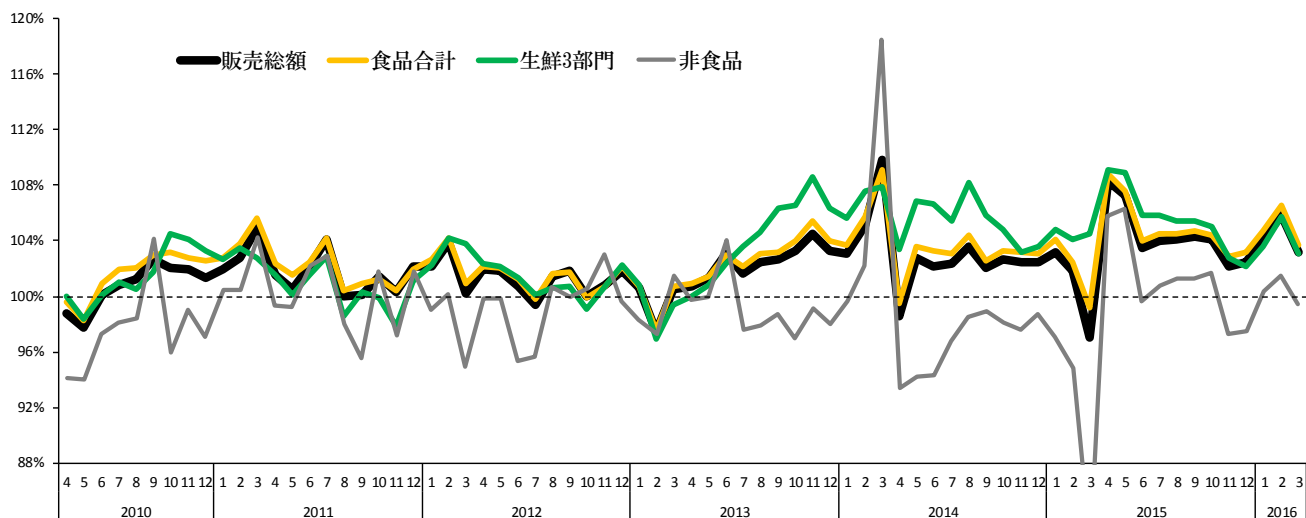
集計企業数（社）	275	既存店総売上高（万円）	1,006,866,211
----------	-----	-------------	---------------

※売上高は税抜金額

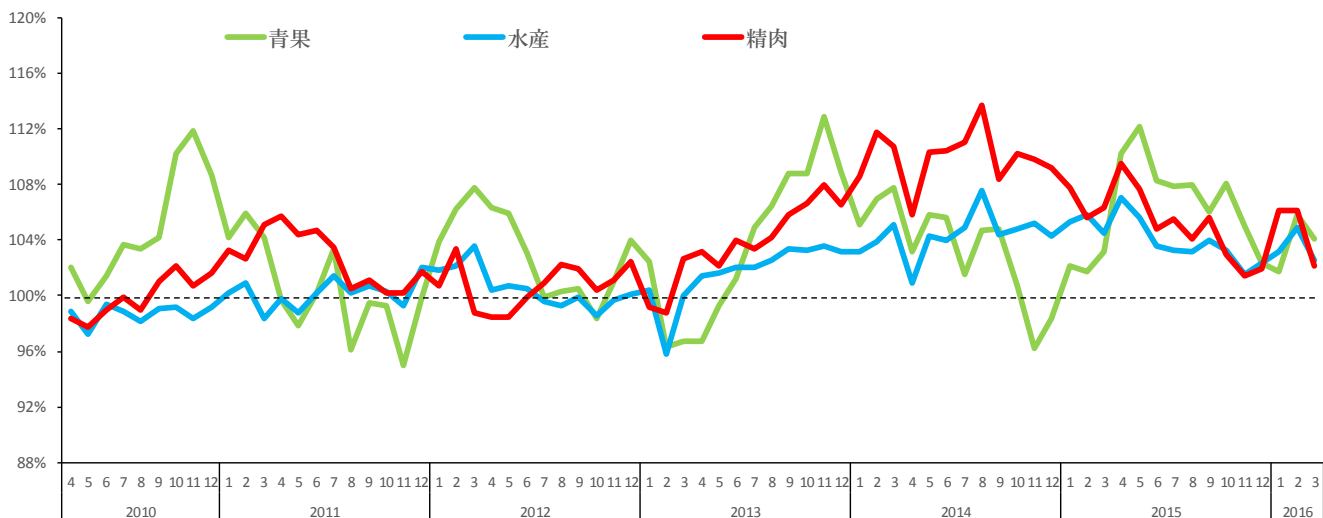
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年3月(全店ベース対前年同月比)

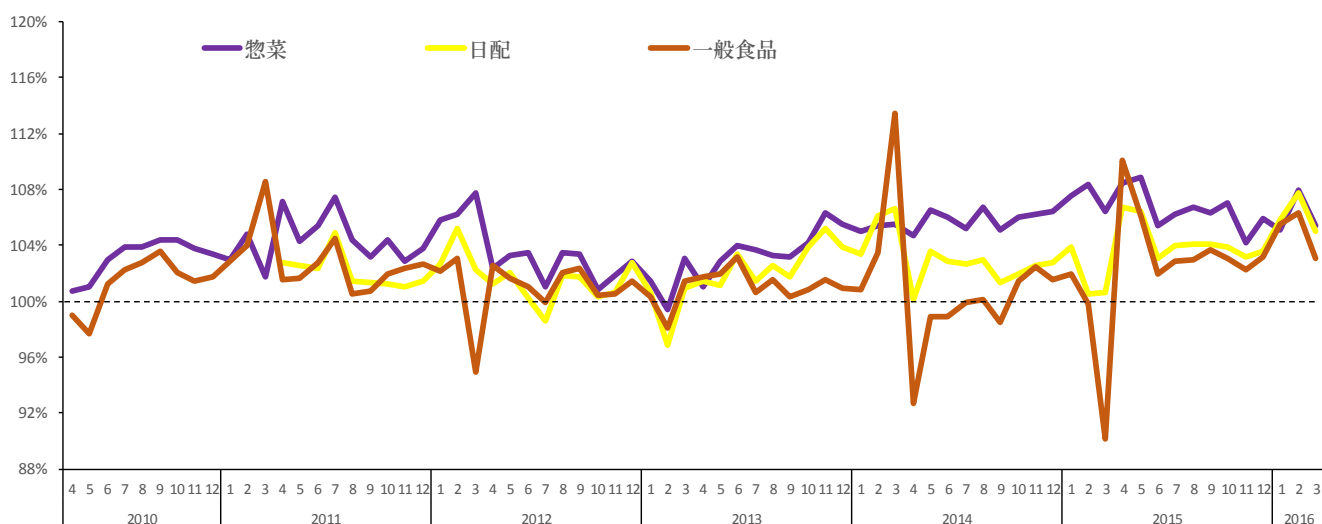
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年1月までは確報版による前年同月比、2016年3月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年3月エリア別気候状況

1. 平均気温：東・西日本では月平均気温がかなり高く、変動が大きい

上旬：東・西日本でかなり高く、北日本、沖縄・奄美で高かった

中旬：北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。西日本では平年並だった。

下旬：、沖縄・奄美ではかなり低く、北日本で高かった。東・西日本では平年並だった。

2015年3月との比較：上旬は関東以西でかなり高く、下旬は全国的に低い気温だった。

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年3月			2015年3月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	0.9	1.9	1.3	3.3	2.4	2.8	-2.4	-0.5	-1.5
東北地方	2.0	2.3	1.2	2.0	1.0	2.4	0.0	1.3	-1.2
関東甲信地方	2.9	0.8	0.7	1.0	1.7	1.6	1.9	-0.9	-0.9
北陸地方	2.7	1.1	0.5	0.6	0.7	1.2	2.1	0.4	-0.7
東海地方	2.8	0.8	0.6	0.8	1.0	0.7	2.0	-0.2	-0.1
近畿地方	3.4	0.6	0.3	0.1	1.4	0.8	3.3	-0.8	-0.5
中国地方	3.3	0.5	0.3	-0.8	1.2	1.3	4.1	-0.7	-1.0
四国地方	2.8	0.5	0.1	-0.6	0.8	0.7	3.4	-0.3	-0.6
九州北部	3.3	0.1	-0.2	-1.1	1.4	1.0	4.4	-1.3	-1.2
九州南部・奄美地方	2.4	-0.1	-0.9	-0.9	1.1	0.5	3.3	-1.2	-1.4

平年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

前年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

2. 日照時間：北日本太平洋側と西日本日本海側では、日照時間がかなり多い

上旬：北日本太平洋側で少なく、沖縄・奄美が多かった。北日本日本海側、東・西日本では平年並だった。

中旬：北日本で多かった。一方、東日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。東日本日本海側と西日本では平年並だった。

下旬：北・東・西日本ではかなり多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

2015年3月との比較：上旬は全国的にやや多く、下旬はやや少なかった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年3月			2015年3月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	97	126	132	64	93	108	33	33	24
東北地方	90	114	141	69	104	143	21	10	-2
関東甲信地方	97	81	127	64	101	171	33	-20	-44
北陸地方	93	97	157	55	99	156	38	-2	1
東海地方	91	103	151	70	93	166	21	10	-15
近畿地方	104	104	153	62	92	168	42	12	-15
中国地方	96	108	148	71	105	178	25	3	-30
四国地方	97	114	146	70	90	157	27	24	-11
九州北部	101	116	132	92	104	166	9	12	-34
九州南部・奄美地方	118	123	127	73	107	165	45	16	-38

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

3. 降水量：東日本日本海側では、3月として1位の少雨

上旬：北日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側ではかなり少なかった。

中旬：北日本ではかなり少なかった。一方、沖縄・奄美ではかなり多く、東・西日本太平洋側で多かった。東・西日本日本海側では平年並だった。

下旬：北日本太平洋側と東・西日本ではかなり少なく、北日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。

2015年3月との比較：上旬は東日本を中心にかかなり少なく、中旬は日本海側でやや少なくなった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年3月			2015年3月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	115	38	46	438	98	70	-323	-60	-24
東北地方	75	33	40	390	81	24	-315	-48	16
関東甲信地方	142	132	16	240	74	4	-98	58	12
北陸地方	47	74	19	146	184	29	-99	-110	-10
東海地方	172	141	4	286	154	10	-114	-13	-6
近畿地方	119	134	5	279	180	16	-160	-46	-11
中国地方	106	77	5	204	125	1	-98	-48	4
四国地方	152	127	14	342	119	17	-190	8	-3
九州北部	115	56	23	144	156	10	-29	-100	13
九州南部・奄美地方	131	151	54	156	75	24	-25	76	30

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

気象庁ホームページ・報道発表資料「3月の気候」参照

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016年4月調査結果（3月実績）
（2016年4月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

4月調査（3月実績）結果概況

景気判断DI 現状・見通し共に悪化し、現状判断は再び50を割り込む

3月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-4.1の46.7、見通し判断は前月から-2.7の43.8となり、共に前月から悪化し、現状判断は再び50を割り込んだ。

経営動向調査では、2月がうるう年により営業日が1日多く、大幅に上昇した反動で、各DIは前月との比較では下落幅が大きくなっている。当月は、それ以前の来客数の減少を客単価の増加でカバーする傾向に再び回帰したといえる。

カテゴリー動向結果でも同様の理由により前月との比較では大きく下落している。生鮮品では、青果DIはプラスとなっているものの、これまで好調を牽引してきた畜産DIが国産牛の不振などからマイナスとなった。ひな祭り関連や行楽需要が好調であった惣菜や機能性ヨーグルトが引き続き好調な日配は共にDIがプラスとなっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では12月以降比較的底堅く推移していたが、当月は一転して悪化をみせている。長期トレンドを示す12ヵ月移動平均が2015年2月以来のマイナスとなるなど、景況感のダウントレンドが鮮明となっている。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

3月は販売動向が堅調にかかわらず、景況感は大きく悪化している。このような弱気な景気判断は、販売価格や客単価がゆるやかに下降傾向を続け、来客数が再び弱含んだ現状への危機感ともみられる。消費低迷が指摘されるなかでも堅調な動向を続けていた環境に変化の兆しがみえはじめている。

景況感調査

現状判断

景気判断DI

当月：**46.7** (-4.1)
前月：50.8

消費者購買意欲DI

当月：**46.3** (-3.3)
前月：49.6

周辺地域 競合状況DI

当月：**43.1** (-1.7)
前月：44.8

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：**47.8** (-0.2)
前月：48.0

見通し判断

景気判断DI

当月：**43.8** (-2.7)
前月：46.5

消費者購買意欲DI

当月：**45.4** (-1.9)
前月：47.3

周辺地域 競合状況DI

当月：**41.4** (-1.2)
前月：42.6

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：**46.5** (-0.8)
前月：47.3

経営動向調査 経営状況

売上高DI

当月：**-1.5** (-8.3)
前月：6.8

客単価DI

当月：**5.2** (-1.3)
前月：6.5

来客数DI

当月：**-6.2** (-7.9)
前月：1.7

収益DI

当月：**-1.2** (-7.5)
前月：6.3

販売価格DI

当月：**6.8** (-1.3)
前月：8.1

生鮮品仕入原価DI

当月：**10.6** (-0.1)
前月：10.7

食品仕入原価DI

当月：**9.5** (-2.1)
前月：11.6

カテゴリー動向

青果DI

当月：**4.3** (-3.5)
前月：7.8

水産DI

当月：**-0.1** (-5.4)
前月：5.3

畜産DI

当月：**-2.0** (-10.7)
前月：8.7

惣菜DI

当月：**3.5** (-10.2)
前月：13.7

日配DI

当月：**5.1** (-8.2)
前月：13.3

一般食品DI

当月：**-1.3** (-11.7)
前月：10.4

非食品DI

当月：**-6.6** (-6.1)
前月：-0.5

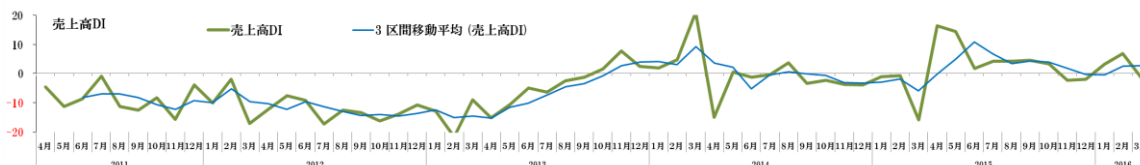
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

4月調査（3月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

2ヵ月連続でプラスの後、マイナス圏に下落

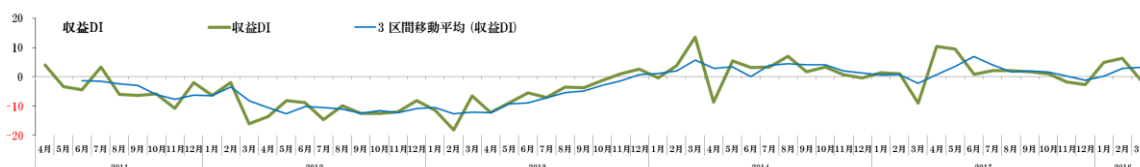
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	2.8	18.4	32.5	41.0	5.2	6.8
売上高 (当月)	4.2	31.7	32.8	28.0	3.2	-1.5



2. 収益DI

2ヵ月連続でプラスの後、マイナス圏に下落

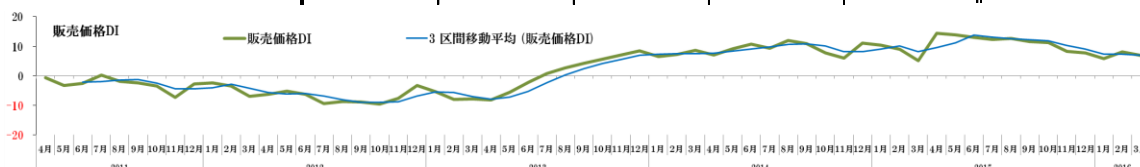
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	2.4	19.1	35.9	35.9	6.7	6.3
収益 (当月)	4.3	29.6	37.1	24.7	4.3	-1.2



3. 販売価格DI

小幅に下降し、トレンドはやや下向き

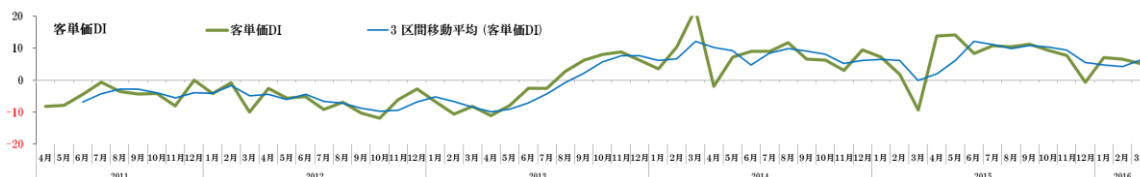
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	7.1	53.3	39.5	0.0	8.1
販売価格 (当月)	0.0	5.9	61.0	33.2	0.0	6.8



4. 客単価DI

小幅に下降し、トレンドはやや下向き

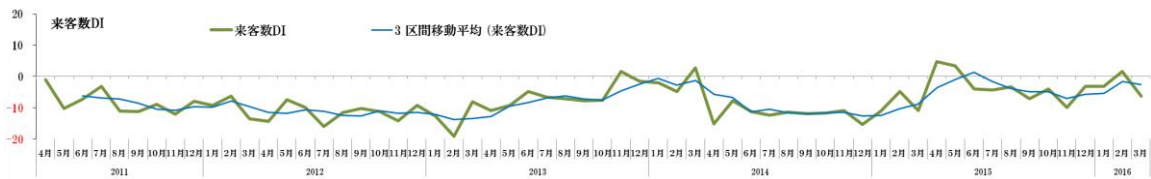
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	16.6	42.2	39.8	1.4	6.5
客単価 (当月)	0.0	13.4	52.4	34.2	0.0	5.2



5. 来客数 DI

前月のプラスから再びマイナスに下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	1.9	26.1	37.4	32.7	1.9	1.7
来客数 (当月)	4.2	36.5	40.2	18.0	1.1	-6.2



6. 生鮮仕入原価 DI

横ばいでの推移

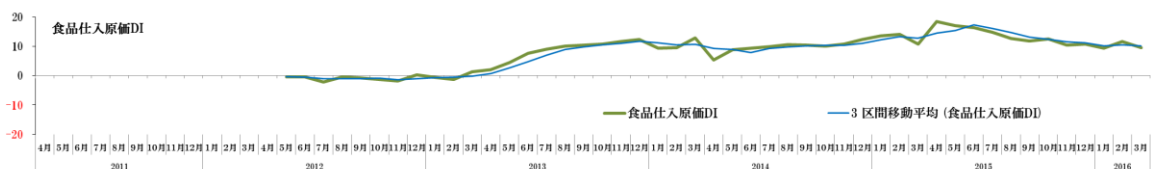
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	7.8	43.7	44.7	3.4	10.7
生鮮仕入原価 (当月)	1.1	5.4	47.3	42.4	3.8	10.6



7. 食品仕入原価 DI

小幅に下降し、トレンドはやや下向き

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	3.4	48.8	44.0	3.4	11.6
食品仕入原価 (当月)	1.1	3.8	52.7	40.8	1.6	9.5

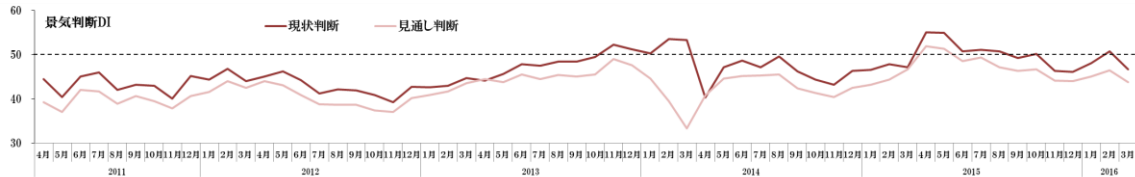


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状、見通し判断共に悪化し、再び50を割り込む

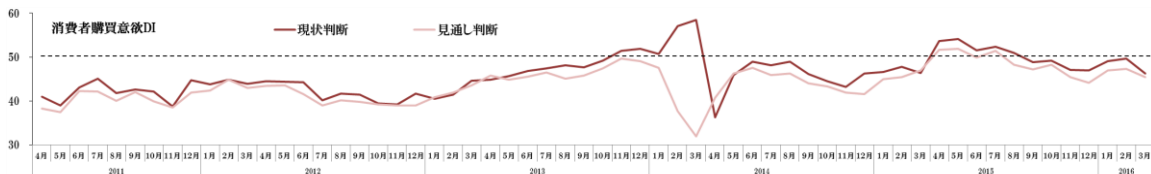
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	0.9	12.7	68.9	17.0	0.5	50.8
【現状】景況判断 (当月)	1.6	21.3	66.0	11.2	0.0	46.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	1.9	20.1	68.2	9.8	0.0	46.5
【見通し】景況判断 (当月)	3.7	25.0	63.8	7.4	0.0	43.8



2. 消費者購買意欲 DI

現状、見通し判断共にやや悪化し、下降トレンド

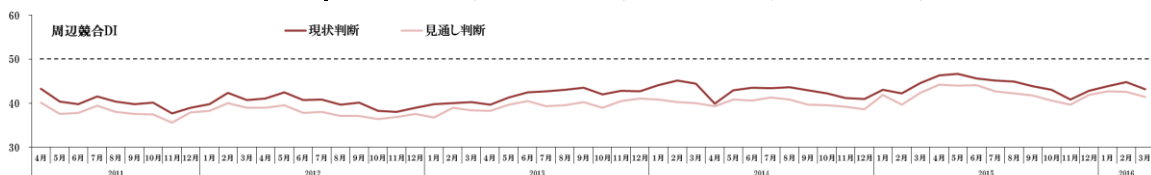
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	13.6	74.2	12.2	0.0	49.6
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	23.0	69.0	8.0	0.0	46.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	17.8	75.1	7.0	0.0	47.3
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	23.1	70.4	5.9	0.0	45.4



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

2ヵ月連続で改善後、再び悪化

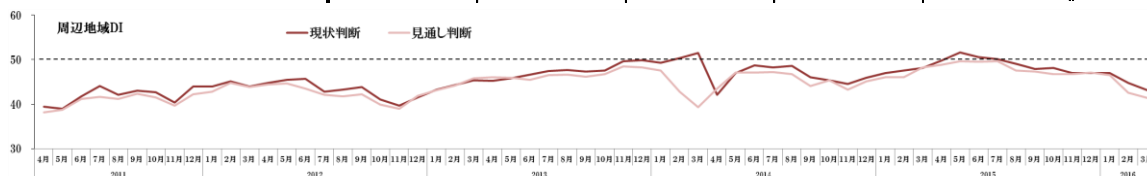
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.3	19.7	74.6	2.8	0.5	44.8
【現状】競合状況 (当月)	3.2	24.5	69.1	3.2	0.0	43.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.2	24.3	68.7	2.3	0.5	42.6
【見通し】競合状況 (当月)	6.4	23.5	67.9	2.1	0.0	41.4



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通し判断共にやや小幅な悪化傾向が続く

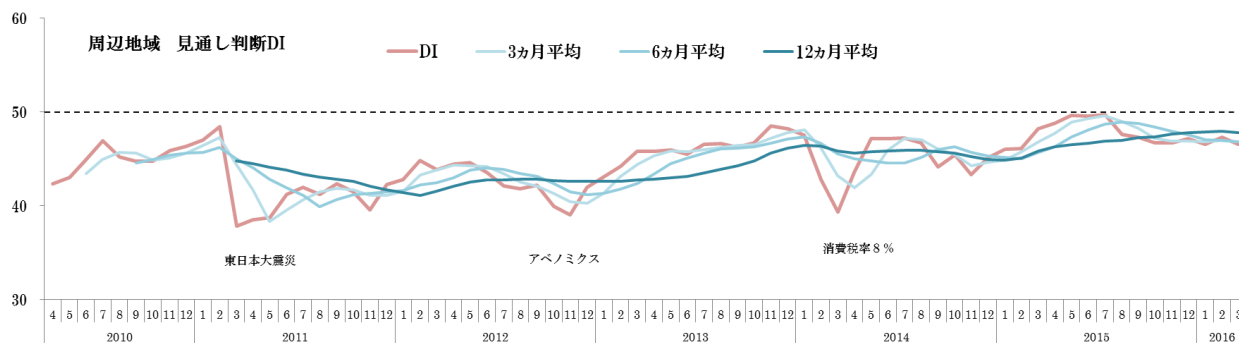
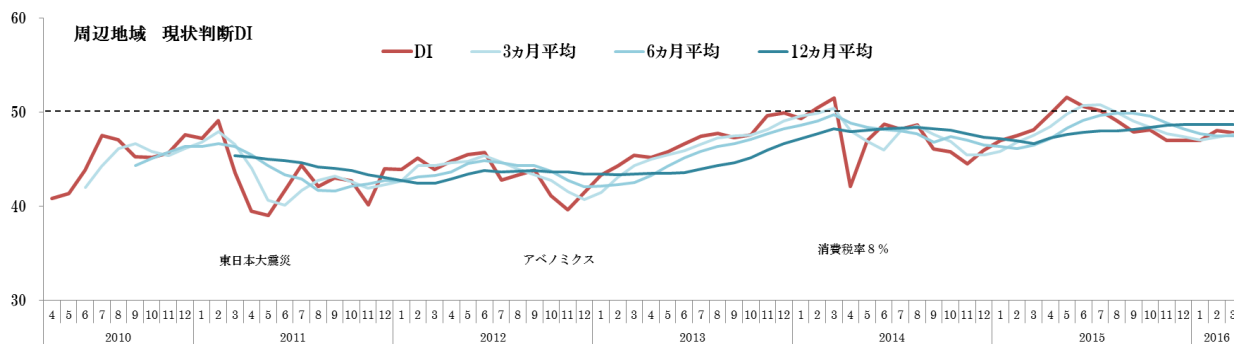
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	13.1	81.7	5.2	0.0	48.0
【現状】地域景気(当月)	0.0	12.9	82.8	4.3	0.0	47.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	15.0	80.8	4.2	0.0	47.3
【見通し】地域景気(当月)	0.5	16.1	80.1	3.2	0.0	46.5



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、直近2016年3月では再び下落している。

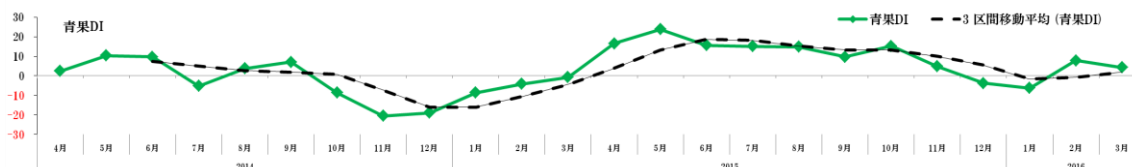
その結果、12ヵ月移動平均は、2015年2月以来、13ヵ月ぶりにマイナスを記録したほか、他の平均線もマイナス推移を続けており、引き続き弱含みな状況が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：4.3（やや好調）

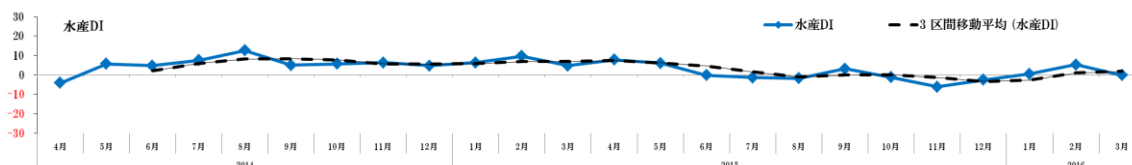
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.5	17.6	36.7	36.7	7.5	7.8
青果（当月）	3.9	20.7	35.8	33.5	6.1	4.3



青果相場は、全体としてやや高く推移したものの、品目により高安まちまちとなっている。気温の上昇とともにサラダ関連の動きがよく、比較的好調に推移した。豆類（スナップエンドウ）は不作で不調となった。バナナなどの輸入果物が好調な一方で、いちごや柑橘類の国産果物は好不調まちまちとなった。

2. 水産DI：-0.1（やや不調）

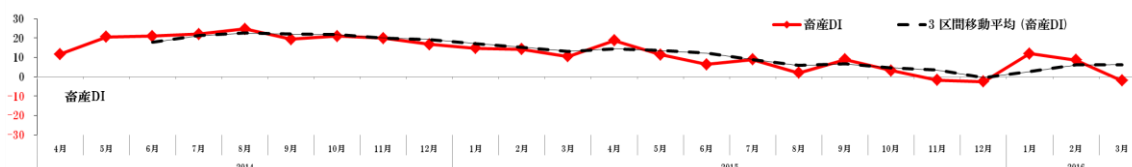
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	3.0	16.7	40.9	34.8	4.5	5.3
水産（当月）	4.5	27.9	36.9	25.1	5.6	-0.1



鮮魚は不安定な仕入状況が続いているが、気温が上昇した地域では刺身類が好調とコメントが多くみられた。いかなごの解禁が遅れたものの、ほたるイカやサーモンが好調であった。生魚については不調とするコメントが多くみられた。

3. 畜産DI：-2.0（やや不調）

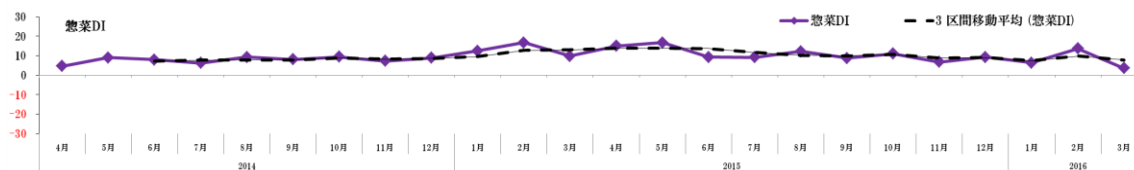
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	2.5	19.1	28.6	40.7	9.0	8.7
畜産（当月）	5.6	29.6	36.3	24.0	4.5	-2.0



国産牛肉は相場高が続いており、特に和牛（銘柄牛）が不調となっている。比較的相場の安定している豚肉や鶏肉が好調となっている。加工肉は一部では回復傾向もみられるが、不振とするコメントが多くなった。

4. 惣菜DI：3.5（やや好調）

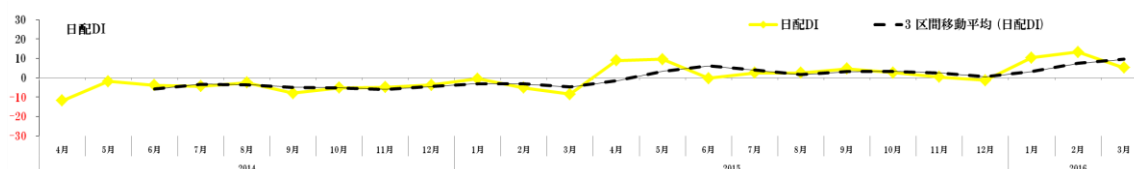
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	2.5	9.6	28.4	49.2	10.2	13.7
惣菜（当月）	3.9	19.7	40.4	30.3	5.6	3.5



桜の開花が前年より遅れた影響を受けた地域もみられたが、ひなまつり商戦が好調であったとのコメントが多く、全体としてやや好調となった。季節商材の使用や出来立ての提供など取組みを強化が成果をあげている一方で、人手不足を指摘するコメントも散見された。

5. 日配DI：5.1（やや好調）

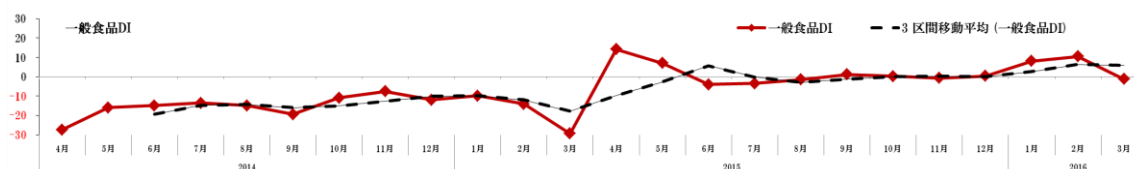
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	2.0	8.6	33.3	46.5	9.6	13.3
日配（当月）	1.7	20.3	39.0	33.9	5.1	5.1



気温が高い地域では豆腐や練り物などの和日配、パン類が不調となったものの、インフルエンザや花粉症対策として機能性ヨーグルトやアイスクリームを中心とした洋日配が好調であるとのコメントが多くみられた。

6. 一般食品：-1.3（やや不調）

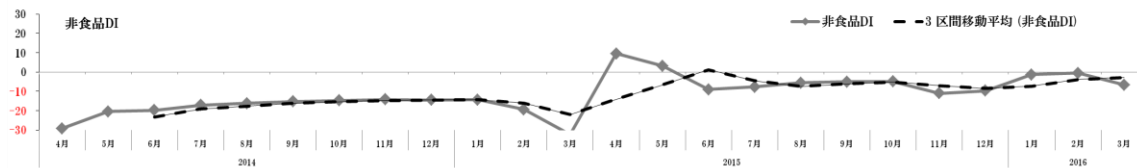
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	1.5	11.6	38.7	40.2	8.0	10.4
一般食品（当月）	2.8	28.1	43.8	21.9	3.4	-1.3



気温の上昇により飲料やひなまつりに関連して和風調味料が好調であった。米類は前年に比べ回復を指摘するコメントが多くみられた。一方で酒類は不調とするコメントが多い。

7. 非食品 DI：-6.6（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	5.7	25.3	40.7	22.2	6.2	-0.5
非食品（当月）	9.2	32.4	37.6	17.3	3.5	-6.6



タバコ値上げ前の駆け込み需要や、花粉対策用マスクや行楽関連が好調とのコメントがある一方で、ドラッグストアやホームセンターとの競合により苦戦を指摘するコメントが多かった。

カテゴリ別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2016年4月調査（3月実績）キーワード TOP3

1. 曜日めぐり（日曜日が一日少ない、3連休）
2. 天候要因（高温、気温の変化大、好天）
3. 来客数の減少

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

3月実績速報版 189社
 2月実績確報版 212社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局
tokei@super.or.jp